



団体の概要

概要及び設立時期

日本真珠振興会は、真珠養殖業を営む生産者団体や真珠の加工・流通・輸出を行う事業者の団体、宝飾販売業者等で構成される協議会で昭和31年9月28日に設立。

目的

真珠事業の研究、指導及び育成を図り、もってその発展、振興を促進するため、

- ① 真珠の養殖、加工、販売及び輸出に関する資料の収集及び調査研究
- ② 真珠事業に関する国内及び国外に対する宣伝及び啓もう
- ③ 真珠事業に関係ある貿易並びに国際経済に関する情報、資料の収集及び頒布
- ④ 真珠の各業界間の連絡、提携及びその指導

等を実施する。

代表者

会長 藤田 哲也

会員

第1種会員：全国真珠養殖漁業協同組合連合会、愛媛県漁業協同組合、
日本真珠輸出組合、日本真珠輸出加工協同組合（4団体）

第2種会員：宝飾販売業者等（33社） **全37会員※**

注）第1種会員…真珠の養殖、加工又は輸出に関する事業者によって組織される団体

第2種会員…真珠業者その他、会の目的に賛同するもの

※令和7年7月1日時点

主な取組

海外における販路開拓活動

- ・ 中国人バイヤー等を対象としたオンラインとリアルを併用した商談会（ジャパンパールフェア）を日本国内で開催



ジャパンパールフェアの開会式
(令和7年6月)

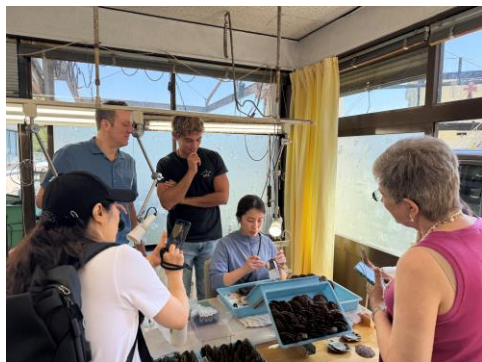


ジャパンパールフェアの展示会場
(令和7年6月)



■ 主な取組（続き）

- ・ ジャパン・パール・プロモーション・ツアーを開催し、イタリアの宝飾業界関係者を日本に招へいするとともに、養殖・加工現場の視察、業界関係者との交流会等を実施
- ・ E U市場での日本真珠の認知向上に向け、イタリアで開催された国際宝飾展において、アコヤ真珠の品質基準、S D G sに係る動画を配信



現地視察（核入作業現場）
（令和7年6月）



ヴィチエンツァ国際宝飾展
（令和5年9月）

業界関係者共通の輸出に関する 課題解決に向けた実証等

- ・ 輸出拡大に向け、品質の良い真珠の安定供給を図るため、大量へい死を招かない漁場条件などアコヤガイ稚貝・母貝の生産条件を見極める実証試験を実施



漁場条件の実証試験
（令和4年9月）

海外におけるジャパンプランドの確立

- ・ 「真珠指針2020」で取りまとめた品質基準を発信するとともに、アコヤ真珠のサステナブルな取組（真珠採取後のアコヤガイ貝肉を活用した堆肥作り等）を香港の国際展示場内で紹介



Jewelry & Gem ASIA Hong Kong
の出展ブース（令和6年6月）

輸出ターゲット国・地域の市場・規制調査

- ・ 中国、香港、アセアン諸国で事業を展開している海外バイヤーを対象に聞き取り調査を行い、同地域における真珠サプライチェーンの実態把握、及び真珠の市場動向を整理